

令和6年度 事業報告書

I 全体概要

老人クラブでは、「健康・友愛・奉仕」という全国三大運動の推進のため、「健康づくり・介護予防活動」、「友愛活動」、「子どもの見守り・消費者被害防止」などの「ボランティア」活動を行い、地域の安全と安心に貢献してきました。

近年は、若手会員の不足によるクラブの高齢化や、役員のなり手不足などの課題を抱え、会員数の減少が続いています。近年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、クラブの活動はもとより、会員の健康も大きな影響を受けました。

このような中、令和6年度は健康づくりやフレイル予防、友愛訪問活動などをはじめとして、魅力ある老人クラブ活動づくり、会員増強に引き続き取り組むとともに、行政や社協を始め関係団体と連携し、地域における支え合い活動を広げ、地域の安全・安心づくりに取り組みました。

以下、その概要について報告します。

II 公益事業

1 健康づくり・介護予防活動の推進（公1）

（1）「高齢者の体力測定」の啓発・普及

高齢者の健康づくりにおいては、高齢者が自らの体力を知り、自分にあった適切な運動を生活の中に取り入れていくことが重要です。

この「高齢者の体力測定」の啓発・普及を図るため、積極的に取り組もうとする市町村老連等を選定して体力測定会の実施を支援しました。

（2）健康ウォーキング・ニュースポーツ等支援事業の推進

運動による高齢者の健康づくりを促進するため、誰もが気軽に取り組めるニュースポーツやeスポーツ並びに健康ウォーキングの普及・拡大を目的として実技研修会やキャンペーンを開催しました。

①【健康ウォーキング・ニュースポーツ等研修会】

10月30日	熊本県立総合体育館（中体育室） ○「公式ワナゲ」「ボッチャ」実技講習 ○参加者 57人
--------	---

②【ニュースポーツ等活動支援事業（eスポーツ体験講習会）】

6月7日	熊本県総合福祉センター「研修ホール」 ○講演 「高齢者eスポーツで人生を豊かに」 ○実技講習 「ぷよぷよ」「太鼓の達人」 ○参加者 39人
------	--

③【みんなで健康ウォーキングキャンペーン】

10月1日～ 11月30日	○熊本県が推奨する歩数計アプリを活用したウォーキングキャンペーンを開催。
------------------	--------------------------------------

(3) 健康づくり指導者育成事業

① 健康・生きがいきづくり支援事業推進委員会の開催

〔R6.11.12 県総合福祉センター第4会議室〕

② 健康づくりブロック別研修会

ここからだの健康づくり活動の普及・拡大を図るため、専門的立場の講師による講演と、健康づくりに取り組んでいる市町村老連や単老からの実践報告を行う研修会を県内2ブロックで開催しました。

6月19日	<p>県北ブロック：合志市・菊池郡地区 大津町生涯学習センター「大会議室」</p> <p>○講演① 「食べるフレイル予防」 ○講演② 「高齢者の正しい運動の仕方について」 ○健康づくり活動実践報告 頭と体の体操「つながる広場」</p> <p>○参加者 60人</p>
7月10日	<p>県南ブロック：人吉市・球磨郡地区 あさぎり町深田校区公民館「せきれい館」</p> <p>○講演① 「食べるフレイル予防」 ○講演② 「筋力強化でフレイル予防」 ○健康づくり活動実践報告 頭と体の体操「つながる広場」</p> <p>○参加者 88人</p>

③ 健康づくりリーダー等研修会

高齢者の健康で生きがいのある生活の実現をめざして、市町村老連等で心と体の健康づくり活動に取り組んでいる「健康づくりリーダー等」を対象とした研修会を開催しました。

12月20日	<p>熊本県総合福祉センター「研修ホール」</p> <p>○みんなで健康ウォーキングキャンペーン 成績優秀者の表彰</p> <p>○「高齢者の健康づくり・生活支援セミナー」 参加者報告</p> <p>○講義① 「食べるフレイル予防」 ○講義② 「筋力強化でフレイル予防」</p> <p>○参加者 52人</p>
--------	---

(4) 熊本県高齢者スポーツ・文化の集いへの協力、参加

一般財団法人熊本さわやか長寿財団との共催により、高齢者の健康づくりや生きがいきづくりを支援しました。

- ① シルバースポーツ交流大会
- ② シルバー囲碁・将棋大会

③ シルバー作品展

2 地域支え合い活動の推進（公2）

（1）在宅福祉を支える友愛活動の推進

元気な高齢者が地域の一人暮らしや寝たきりの高齢者等の家庭を訪問し、話し相手や簡単な生活支援等の活動を実践するシルバーヘルパー及び2年以上の実務経験者を対象にしたシルバーヘルパー指導者の養成講習会を開催しました。今年度も新型コロナウイルス感染症の感染対策を行いながら実施しました。

【令和6年度 シルバーヘルパー等養成講習会】

	養成講習会	指導者養成講習会
開催回数	18回	3回
受講者数	465人	114人
延べ受講者数	48,969人	5,772人

（2）地域の安全・安心の取組と社会奉仕の日の取組（地域支え合い活動に関する県老連から市町村老連への取組の呼びかけ）

① 地域の子ども見守り活動

県内各地で取り組まれている登下校時の見守りパトロールに継続して取り組みました。

② 防犯・消費者被害・振り込め詐欺の被害防止活動等

電話でお金詐欺に代表される高齢者を狙った悪質業者の被害に遭わないように、行政（消費生活センター等）や警察との情報共有とともに、県老連ホームページによる注意喚起に取り組みました。

また、新任会長・女性リーダー研修会などの場で、パンフレットを使い注意喚起を行いました。

③ 災害等緊急時の対応

高齢者や社会的弱者への災害緊急時の連絡や避難体制について、自治会や町内会といった団体との連携に努めました。

④ 社会奉仕の日の取組

「老人の日・老人週間（9月15日～9月21日）」の期間中、特に9月20日の老人クラブ全国一斉「社会奉仕の日」に、環境美化活動等に取り組みました。

3 活動活性化に向けた取組（公3）

（1）広報活動

① 「県老連だより」の発行

県老連では、機関紙「くまもと県老連だより」を毎年2回刊行しています。令和6年度も、7月と1月に146号及び147号をそれぞれ発行し、各市町村老連や単位老人クラブ、関係機関等に配付しました。

② 元気老人クラブ活動広報推進事業

活発・先進的なクラブ活動を行っている老人クラブの事例紹介と外部講師による今後の老人クラブ活動の方向性に係る研修会を県の補助を受け開催しました。

9月4日	K K R ホテル熊本 2階「五峯・城彩」 ○事例発表 ①地区との地域間の連帯 上天草市老人クラブ連合会大矢野分会 串老人クラブ ②単位老人クラブ新設における取組について 高森町老人クラブ連合会 ○講演 シニア世代の認知症対策 ～今日からできる備えと工夫～ 講師 株式会社 Re 学 代表取締役 川畑 智 氏 ○参加者：29市町村老連から105人
------	--

(2) 単位老人クラブ調査事業

単位老人クラブの組織実態について調査し、地域活動の基礎資料となる「老人クラブ名簿」を180部作成し、各市町村老連及び支部並びに指定旅館に配付しました。

(3) 老人クラブ大会及び各種表彰の実施

① 老人クラブ大会

第40回熊本県老人クラブ大会をK K R ホテル熊本で開催し、式典の中で、老人クラブの育成発展に功績のあった個人及び団体を表彰しました。

② 寿詞贈呈

95歳になった老人クラブ会員に、老人週間において寿詞贈呈を行いました。

(4) 老人クラブリーダーの育成等

① 単位老人クラブ新任会長及び女性リーダー研修会

各市・郡老連が開催する新任の単位老人クラブ会長や女性リーダーを対象とした研修会で、老人クラブの基礎的な活動や組織の在り方について講話等を行いました。

また、希望のあった老連には、資料を送付しました。

研修開催市町村数	36市町村（ほか1市が独自に実施）
参加者数	計616人

(5) 行政や団体との連携強化の推進（活動活性化に関する県老連から市町村老連への取組の呼びかけ）

① 市町村行政と定期的な協議の機会設定

各市町村老連において、市町村行政との「定期的な協議の場」を設け

るとともに、老人クラブ活動予算の協議や高齢者福祉行政と老人クラブ活動の調整を図るための「要望書」を作成し、行政との連携に取り組みました。

② 地域ネットワークへの積極的な参加

地域の中で安心・安全に暮らしていくために、市町村社協や自治会をはじめ地域にあるネットワークと連携を取りながら活動に参加するよう呼びかけました。

4 被災者支援及び復興活動の推進（公4）

（1）募金活動の実施

令和6年1月1日に発生した能登半島地震の被災地に対する災害義援金の募集を、全老連の要請を受けて、県内の市町村老人クラブ連合会や支部に呼びかけました。

県内各地から寄せられた募金は総額 10,424,000 円となり、全老連を通じて被災地の石川県、富山県、新潟県、新潟市、福井県の老人クラブに寄付しました。

Ⅲ 収益事業

1 指定旅館・ホテル等及び図書斡旋（収1）

（1）指定旅館・ホテル等収入

会員の研修や旅行等福利厚生に資するため、県老連指定旅館制度を設け、安心して活用できる場（旅館・ホテル等）を提供する趣旨で実施しています。

令和6年度は、旅館・ホテル等からの申し出を受け県内9施設、県外3施設、合計12施設を指定しました。

また、「指定旅館のご案内」を作成して各単老に配付し、老人クラブ名簿や年2回発行の県老連だよりに掲載して会員への周知を図りました。

（2）図書斡旋収入

「老人クラブ活動日誌」や「老人クラブ会計簿」などを会員に斡旋し、その活用により老人クラブ活動の円滑な運営を図りました。

2 保険広告（収2）

（1）保険広告料収入

全老連が実施する傷害保険・賠償責任保険について、機関紙である「県老連だより」をはじめ、研修会・講習会等資料に広告を掲載して宣伝を行い、広告料収入を得ました。

3 共益（他1）

（1）郡・市町村老連事務担当者研修会（6月）

市町村老連・支部等の事務局長及び事務担当者を対象に、老人クラブに関係する制度の説明や「調理スキルと健康状態」に関する調査の報告並びに先駆的な活動に取り組む市町村老連の事例発表を行い老人クラブ活動の

活性化を図りました。

IV 会議及び研修会

1 役員会等

- (1) 総会（5月30日）
- (2) 理事会（5月10日、3月7日）
- (3) 正副会長会議（4月16日、7月25日、2月18日）
- (4) 監査（4月16日）
- (5) 女性委員会（5月20日、2月21日）
- (6) 友愛活動活性化委員会（5月20日、2月21日）
- (7) 活動積立金管理運営委員会（1月22日）
- (8) 広報委員会（4月23日、10月2日）
- (9) 健康・生きがいづくり支援事業推進委員会（11月12日）
- (10) 会員加入増強運動準備委員会（1月28日）

2 研修会等

- (1) 第40回熊本県老人クラブ大会（10月9日）
- (2) 健康づくりブロック別研修会（6月19日、7月10日）
- (3) 健康ウォーキング・ニュースポーツ等研修会（10月30日）
- (4) 健康づくりリーダー等研修会（12月20日）
- (5) シルバーヘルパー養成講習会・指導者養成講習会（21回）
- (6) 元気老人クラブ活動広報推進事業研修会（9月4日）
- (7) 市町村老連新任会長及び女性リーダー等研修会（36カ所）
- (8) 郡・市町村老連事務担当者研修会（6月7日）

3 全国及び九州ブロック会議及び研修会等

- (1) 全国老人クラブ連合会評議員会・理事会（東京都：6月20日、3月13日）
- (2) 九州ブロック老人クラブリーダー研修会（大分市：7月4日～5日）
- (3) 都道府県・指定都市老連事務局長会議（東京都：7月30日）
- (4) 活動推進員等職員セミナー（東京都：8月27日）
- (5) 九州各県・指定都市老連事務局長会議（鹿児島市：8月22日～23日）
- (6) 第53回全国老人クラブ大会（横浜市：11月20日～21日）
- (7) 第36回全国健康福祉祭鳥取大会（鳥取県：10月19日～22日）
- (8) 高齢者の健康づくり・生活支援セミナー（東京都：12月5日～6日）
- (9) 都道府県・指定都市老連代表者会議（東京都：2月4日～5日）
- (10) 九州各県・指定都市老人クラブ連合会連絡協議会
(那覇市：2月13日～14日)